

2001年4月23日

いすゞ、中国で

中・大型トラックの合弁生産を開始

いすゞ自動車株式会社(以下いすゞ)は、この度、慶鈴汽車股イ分有限公司(中華人民共和国重慶市、以下慶鈴汽車)において、重型トラック(日本の中・大型トラックに相当)の生産を開始した。初年度生産台数は、1,000台、2004年には20,000台を計画している。本日香港で、いすゞの関 和平会長、慶鈴汽車の呉 雲社長が記者会見し、発表した。

今回生産を開始したのはFシリーズ(車両総重量9.5トン~21.5トン 日本名フォワード)で、慶鈴汽車の工場内に新設した専用ラインで生産する。国産化率は、当初45%以上とし、更に2004年には70%程度までの引き上げを計画している。

慶鈴汽車は、いすゞ、重慶汽車の合弁により1985年5月に設立され、日本の自動車メーカーとして初めて、小型トラック(日本名エルフ)の現地合弁生産を開始した。その後順調に生産車種と台数を拡大し、昨年度は約4万台の小型トラック、ピックアップトラック、RVを生産した。また、同社は1994年より、香港証券取引所に上場している。

中国におけるトラックの需要は年々高まっており、高速道路の発達等に伴って、物流形態も変化している。いすゞは小型トラックの分野では市場をリードしているが、さらに多様化する市場ニーズに対応するため、この度、重型トラック市場へ参入することとした。

現在いすゞは慶鈴汽車を中心に、年間約5万台の小型トラック、ピックアップトラック及びRVを合弁生産している。またこの3月には、広州汽車集団有限公司との合弁会社である、広州五十鈴客車(広東省広州市)で、中・大型バスの生産を開始した。

いすゞは、RVからトラック、バスまでのフルラインを中国で合弁生産する唯一の外資メーカーであるが、今後も商用車の生産車種拡充を図り、中国ビジネスを進めていく。

以上

会社概要

・社名 : 慶鈴汽車股イ分有限公司
(Qingling Motors Co., Ltd.)

- ・所在地 : 中華人民共和国重慶市
(Chongqing, People's Republic of China)
- ・資本金 : 20 億元
- ・出資比率 : 慶鈴汽車集團 51.0%
いすゞ自動車 7.4%
銀建 14.0%
京連興業 2.6%
他(上場分) 25.0%
- ・事業内容 : 商用車の生産、販売
- ・会社設立 : 1985 年 5 月
- ・代表者 : 吳 雲
(Wu Yung)
- ・生産品目 : 中・大型トラック「F シリーズ」
小型トラック「N シリーズ」
1 トンピックアップトラック
RV「UCR/UCS」
- ・生産能力 : 10 万台/年
- ・従業員数 : 2,400 人

以上